

平成28年度 阿賀野市体育部 活動報告

部長 阿賀野市立分田小学校 川口 弘泰

1 研究主題「子どもが生きる体育の学習指導」

2 活動の概要

実技講習会（6月7日） 公開授業（11月22日）

3 活動の実際

（1）実技研修会

講師 ZAPスイミングスクール指導員

内容 水泳に苦手意識のある児童への指導法

水泳指導が始まる直前に、実技講習会を行った。今年度は、水泳指導を専門とする「ZAPスイミングスクール」の指導員からご指導をいただいた。

事前に体育部が水泳の指導に関して日頃悩んでいることを話し合い、項目立てをした。当日は児童の立場になりながら、また、教師の立場になりながら実技研修を行った。学んだことを下に記す。

①プールに入ることや、水面に顔をつけることができない児童への指導法

プールサイドに座らせ、自分で少しずつ水浴びをさせて緊張をやわらげる。水は楽しいものだとして教える。

②蹴伸びの後に、すぐに立ってしまう児童への指導法

腕をまっすぐ伸ばすことを意識させる。マンツーマンで指導した方が効果が高い。回数を重ねれば重ねるほど上達するので、何度も経験させることが大切である。

③正しいバタ足の指導法

足を寄せて、膝を少し内側にねじる。足を動かす際、かかとと離れているが、親指はこすれるような足の向きにする。

④正しいカエル足の指導法

一旦キックしたら、しっかり伸びる。速くたくさん蹴れば進むというわけではない。土踏まずで水を押し出すとよい。

（2）公開授業

発表者 米山 陽 教諭（阿賀野市立安野小学校）

内容 児童が意欲的に取り組むマット運動の指導

感覚を養うためのサーキットトレーニング、今もっている力で遊ぶ楽しさを味わわせるエンジョイタイム、新しくできそうな技に挑戦するチャレンジタイムなど、児童が意欲的に取り組むための手立てが多く、たくさん学ぶことができた。

また、学習の流れがシステム化されており、効率よく学習が進み、運動量が十分に確保されていた。1単位時間の学習の中に、児童が考えたり、実際に試したりする時間も設けられていた。それらのことが児童の技術の向上にもつながっていた。

4 成果と課題

実技研修・公開授業ともに、指導のヒントをたくさんいただくことができた。また、公開授業や協議会では、多くの刺激を受け、指導意欲につながった。

今後は学んだことが体育部でとどまらないよう、各校で研修の場を設けて周知することが大切であると考えている。